

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望する全員の正社員化を。

ゆとり、均等待遇を。

なにより差別一。

ユニオンは労基法裁判に勝利した。

長崎県労連 第32回定期大会

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 3997
19年10月8日(火)
Tel/Fax 095-828-1953

おはようございます。

今日は長崎くんちの中日です。例年、くんちが終わるとあつと言う間に年末が来る感じがします。人手不足は解消されることはなく今年の年繁が心配されます。

10月5日(土)に長崎県労連第32回定期大会が勤労福祉会館で開催され、支部より山田書記長が代議員として出席しました。

大会は10時より溝口県労連副議長の開会挨拶でスタートしました。大会議長に早田代議員(県国公)、園田代議員(自治労連)の2名が選出され、大会役員には資格審査委員長に國貞代議員(自治労連)、議事運営委員長に平尾代議員(年金者組合)、選挙管理委員長に勝村代議員(高教組)が任命されました。

続いて、県労連を代表して乾県労連議長が挨拶を行い、来賓挨拶では全労連渡辺事務局次長、日本共産党長崎県委員会山下委員長、立憲民主党山谷市議会議員の3名の方に連帯の挨拶を頂きました。



各委員会報告の後、鳥巢事務局より第1号議案と第2号議案の提案がありました。昼食休憩を挟み、午後からは質疑、討論に入りました。各代議員からは様々な意見や職場の状況の発言がありました。

求めて一万筆の署名を集める予定である(年金者組合)

○ハローワークでは求める職種に募集が無かったり、逆に募集しても求職者が来ない職種があるなど職種のミスマッチがある。また求職者は45歳以上が六割を占めている(県国公)

○ラフォーレ9店舗の売り上げは厳しい状況の中、人手不足も深刻になっている。配送は正規社員からパートに切り替え1090円の時給で募集している人が集まらない(シラコープ労組)

○市役所は土木などの専門職種が不足しているため途中で職員を募集しているが募集要項には初任給が掲載されていないなど賃金関係の問題がある(自治労連)

○郵政ユニオンからもかんばんの不適切な営業問題や長中局での要員不足の問題、郵政労働契約法20条裁判の現状の三点を報告しました。

また、幹事会からは公共交通労組裁判について「組合を結成した際、運賃抜き取りという既存組合からデマ宣伝が行われ、

損害賠償請求訴訟を闘ってきたが勝利的和解で解決した。組合員も2名から39名に拡大し組合差別も無くなり組合事務所も獲得した」との報告がありました。

休憩を挟み鳥巢事務局長よりまとめの答弁が行われ議案の採決に移りました。

1号議案、2号議案共に採決され、その後、役員選挙が行われ、新年度役員全員が信任されました。



議長解任の後、里県労連副議長の閉会挨拶、最後は乾県労連議長の団結ガンバローで大会を締めくくりました。

職場の声

アマゾンゆうパック(当日便)の取り扱いが10月3日よりなくなりました。(期限付き)各集配部とも混合区は減区で対応していたため、現場では歓迎の声が多く聞かれています。受託者からは逆の悲鳴が聞こえてきます。受託者によっては毎日平均30個ぐらい配達していたらしく、単純に月にすれば10万前後の減収になります。

2017年の年末繁忙をピークにゆうパックの取り扱い個数は減少してきています。その為、減区になっても何とか乗り切ってきました。今回、アマゾンゆうパックの取り扱いが無くなったことにより、会社からは更なる減区や欠区での対応を求められる可能性もあります。また、受託者は生活に直結することから最悪「撤退」ともなりかねません。今後、現場がどうなるか注視していかなければなりません。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, ゆうちよ銀-上筋,